

令和6年度第3回市政モニターアンケート結果

テーマ 「若年層の政治参加促進について」

- (1) 目的 民主政治を進めるためには、その根幹である選挙への参加が重要ですが、近年は、特に若年層の投票率の低下が課題になっており、相模原市も例外ではありません。
- 今回の調査は、現在の有権者の方の投票意識や、若年層の政治参加を促す方法についてのご意見をお伺いし、次世代の有権者層に向けた効果的な啓発活動を提供の上での基礎資料として活用するためにアンケートを実施したものです。
- (2) 回答者数 137人
- (3) 調査期間 令和6年12月17日(火) から令和7年1月10日(金) まで
- (4) 結果要約 問9では、75%以上の方が若い有権者の投票率の低下に対して何か対策を講じるべきと考えていることが分かりました。
- 問10では、若い有権者の投票率向上策として、50%以上の方が、学生が集まる場所への期日前投票所の設置が有効だと考えており、問11では、効果的な情報提供の手段として、40%以上の方がSNSを用いることが効果的であると答えただけで、公営の媒体は最も少ない4%程度にとどまりました。
- 若年層が政治や選挙に関心を持つために何が必要かを伺った問12では、40%以上の方が学校教育が重要と考えていることが分かりました。また、小・中学生を対象に実施する「選挙出前授業」で取り上げる効果的なテーマについてお伺いした問14では、70%以上の方が、国の社会問題のような大きなテーマよりも、地域課題や将来のまちづくりといった身近なテーマが良いと考えている傾向がみられました。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

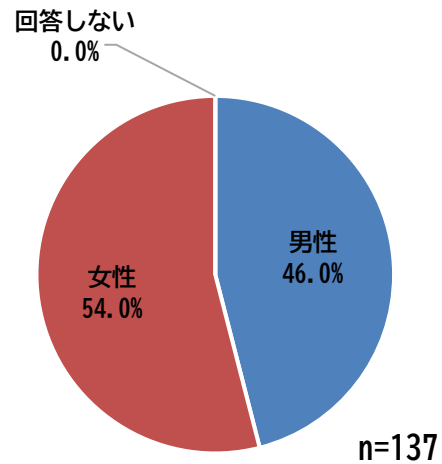
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの性別をお伺いします。（回答は1つ）

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

選択肢	回答数	回答分布
男性	63	46.0%
女性	74	54.0%
回答しない	0	0.0%
計	137	100.0%

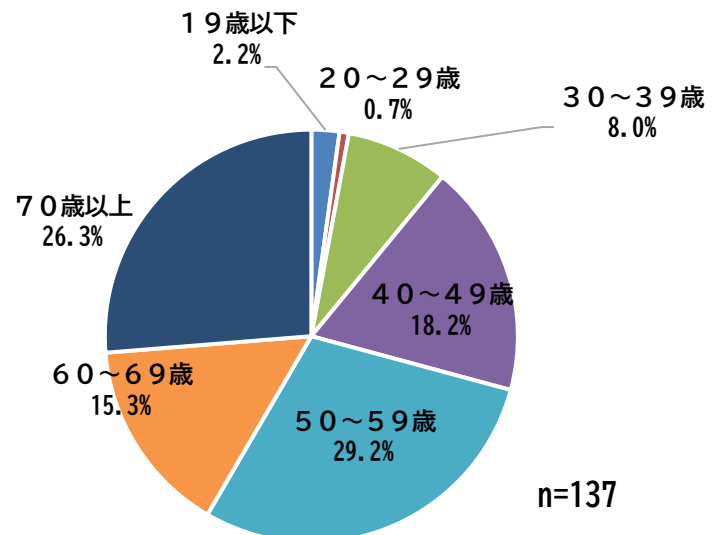


☆ 回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】あなたの年齢をお伺いします。（回答は1つ）

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	3	2.2%
20～29歳	1	0.7%
30～39歳	11	8.0%
40～49歳	25	18.2%
50～59歳	40	29.2%
60～69歳	21	15.3%
70歳以上	36	26.3%
計	137	100.0%

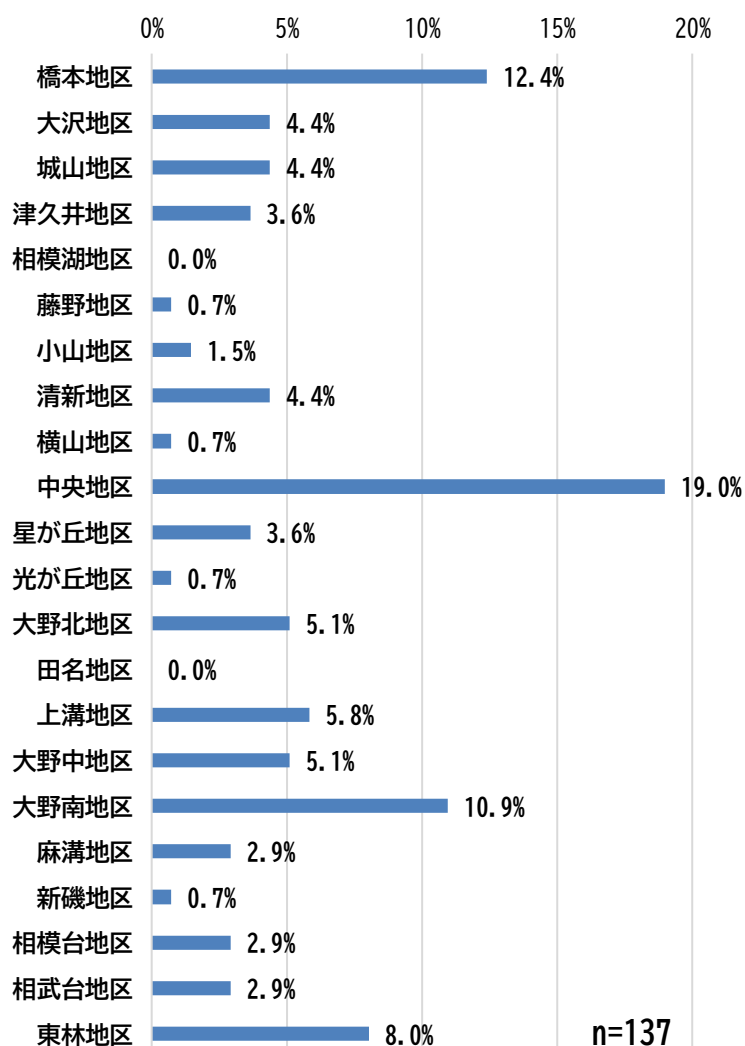


☆ 回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】あなたのお住まいの地区をお伺いします。（回答は1つ）

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	17	12.4%
大沢地区	6	4.4%
城山地区	6	4.4%
津久井地区	5	3.6%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	1	0.7%
小山地区	2	1.5%
清新地区	6	4.4%
横山地区	1	0.7%
中央地区	26	19.0%
星が丘地区	5	3.6%
光が丘地区	1	0.7%
大野北地区	7	5.1%
田名地区	0	0.0%
上溝地区	8	5.8%
大野中地区	7	5.1%
大野南地区	15	10.9%
麻溝地区	4	2.9%
新磯地区	1	0.7%
相模台地区	4	2.9%
相武台地区	4	2.9%
東林地区	11	8.0%
計	137	100.0%

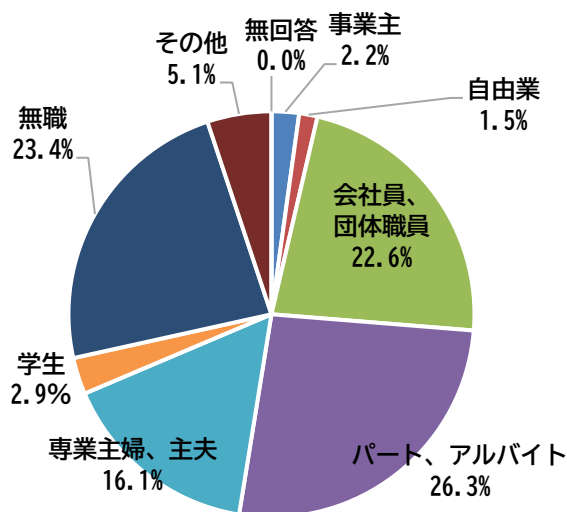


☆ 回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	5 専業主婦、主夫
2 自由業	6 学生
3 会社員、団体職員	7 無職
4 パート、アルバイト	8 その他（具体的に： ）

選択肢	回答数	回答分布
事業主	3	2.2%
自由業	2	1.5%
会社員、団体職員	31	22.6%
パート、アルバイト	36	26.3%
専業主婦、主夫	22	16.1%
学生	4	2.9%
無職	32	23.4%
その他	7	5.1%
無回答	0	0.0%
計	137	100.0%



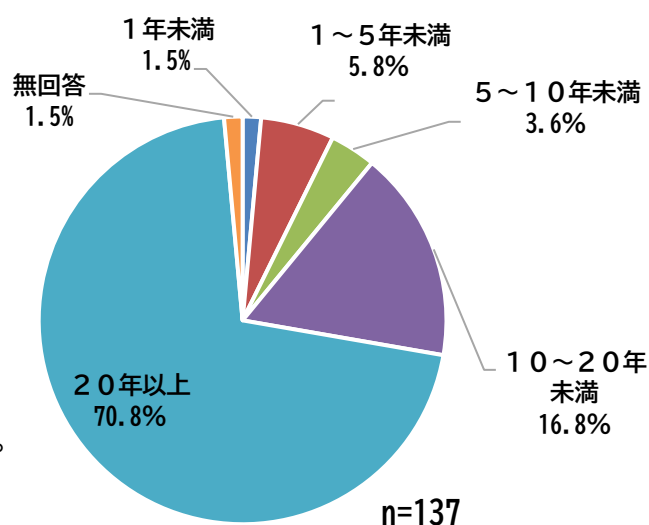
☆ 回答された方の職業は以上のとおりです。

n=137

【問5】 あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1 1年未満	4 10～20年未満
2 1～5年未満	5 20年以上
3 5～10年未満	

選択肢	回答数	回答分布
1年未満	2	1.5%
1～5年未満	8	5.8%
5～10年未満	5	3.6%
10～20年未満	23	16.8%
20年以上	97	70.8%
無回答	2	1.5%
計	137	100.0%



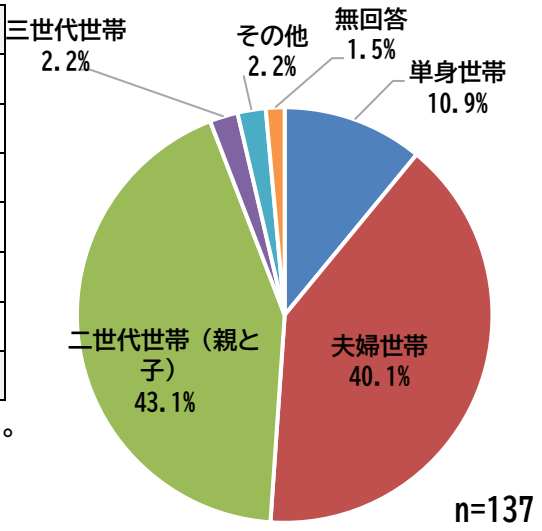
☆ 回答された方の居住年数は以上のとおりです。

n=137

【問6】あなたの家族構成をお伺いします。(回答は1つ)

1 単身世帯	4 三世代世帯
2 夫婦世帯	5 その他
3 二世代会世帯 (親と子)	

選択肢	回答数	回答分布
単身世帯	15	10.9%
夫婦世帯	55	40.1%
二世代会世帯 (親と子)	59	43.1%
三世代世帯	3	2.2%
その他	3	2.2%
無回答	2	1.5%
計	137	100.0%



☆ 回答された方の家族構成は以上のとおりです。

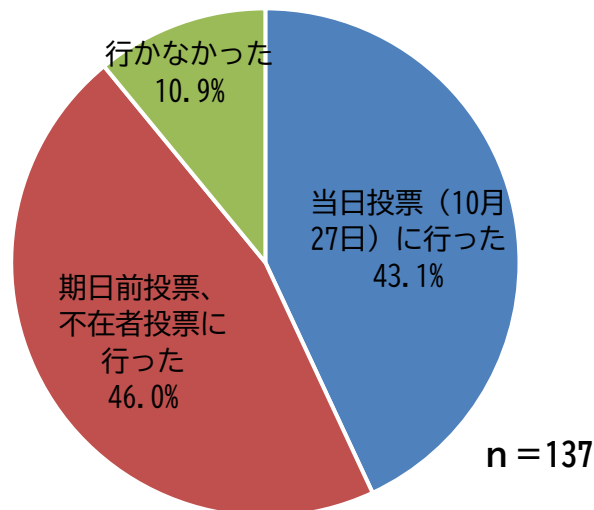
【問7】あなたは、令和6年10月27日に行われた衆議院議員総選挙の投票に行きましたか。（回答は1つ）

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 当日投票(10月27日)に行った | 3 行かなかった(⇒問7-1、問7-2へ) |
| 2 期日前投票※ ¹ 、不在者投票※ ² に行った | |

※1 期日前投票…投票日に仕事や旅行など予定がある人が投票日の前に投票すること。

※2 不在者投票…滞在地や指定施設、郵便などにより投票すること。

選択肢	回答数	回答分布
当日投票(10月27日)に行った	59	43.1%
期日前投票、不在者投票に行った	63	46.0%
行かなかった	15	10.9%
計	137	100.0%



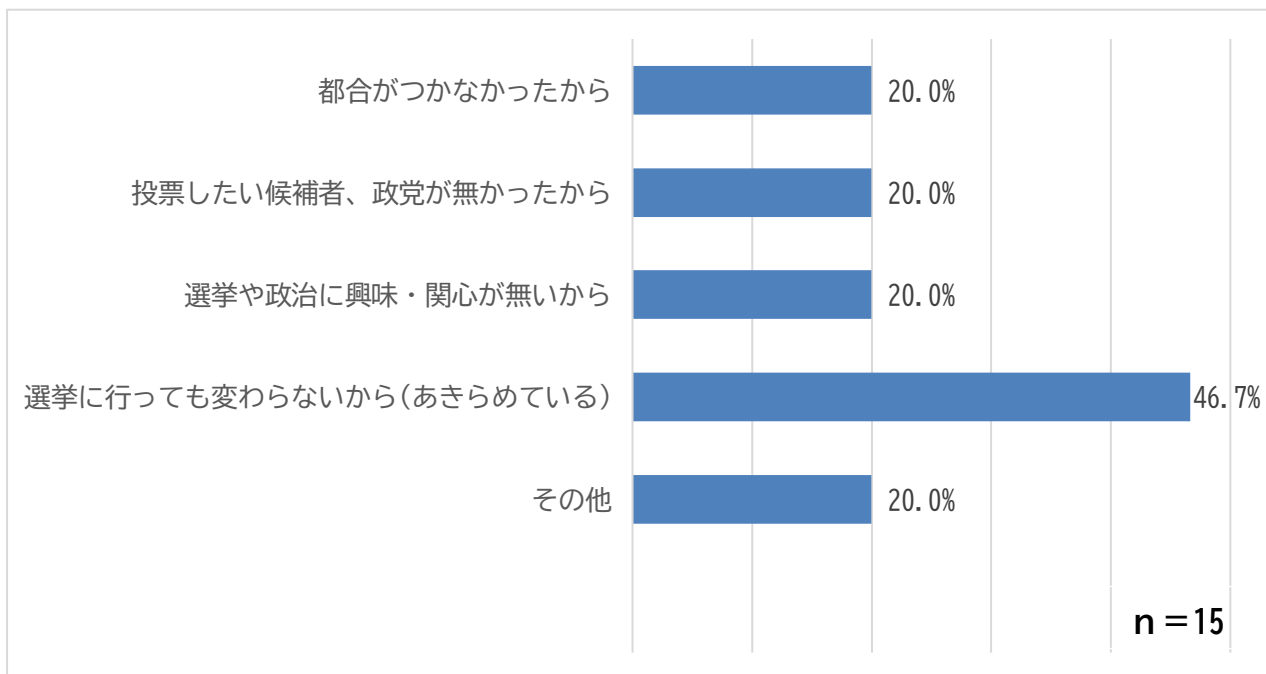
☆ 「当日投票に行った」が43.1%、「期日前投票、不在者投票に行った」が46.0%で、これらを合計すると、選挙に行った人は89.1%という結果でした。

《問7で3を選んだ方へ》

【問7-1】あなたが今回の選挙に行かなかった理由を教えてください。(回答はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 都合がつかなかったから | 4 選挙に行っても変わらないから(あきらめている) |
| 2 投票したい候補者、政党が無かったから | 5 その他(具体的に:) |
| 3 選挙や政治に興味・関心が無いから | |

選択肢	回答数	回答分布
都合がつかなかったから	3	20.0 %
投票したい候補者、政党が無かったから	3	20.0 %
選挙や政治に興味・関心が無いから	3	20.0 %
選挙に行っても変わらないから(あきらめている)	7	46.7 %
その他	3	20.0 %



《その他の内訳》

- ・選挙権を有する年齢に達していないから(2人)
- ・行きたかったが、体調不良だったから

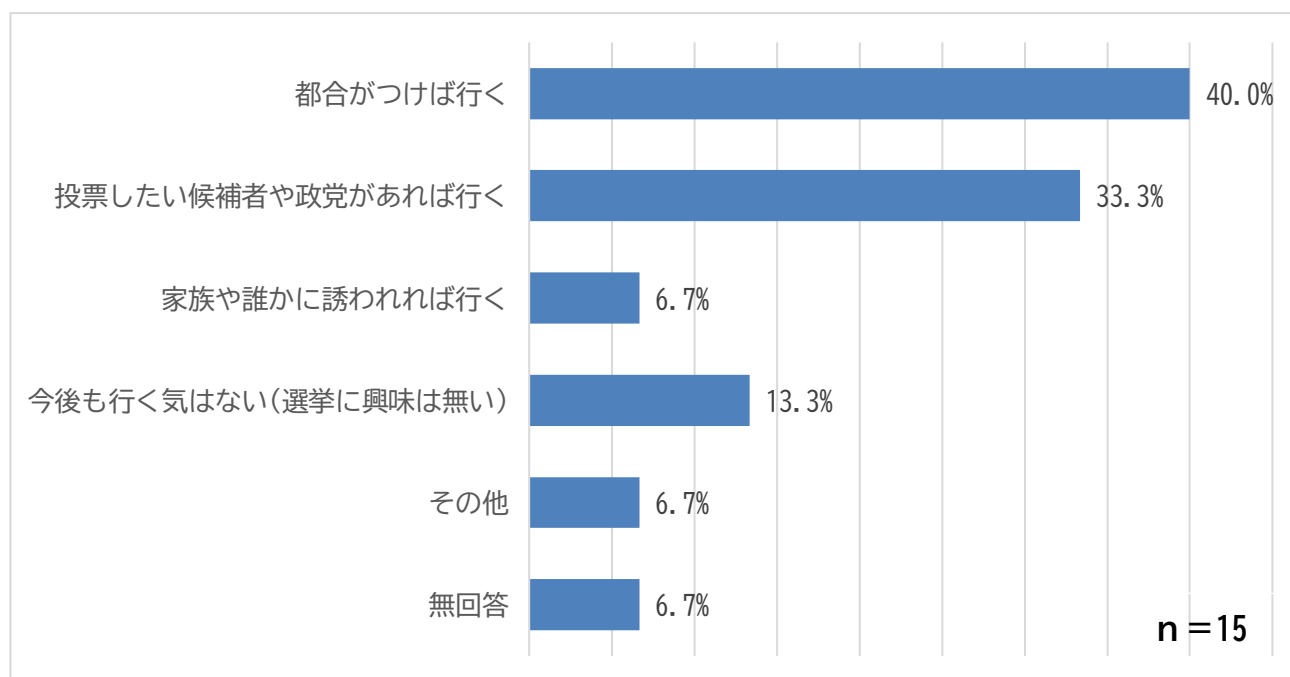
☆ 「選挙に行っても変わらないから(あきらめている)」が46.7%で最も多く、その他の回答はいずれも20.0%という結果になりました。

《問7で3を選んだ方へ》

【問7-2】あなたは、どういったきっかけがあれば選挙に行こうと思いますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 都合がつけば行く | 4 今後も行く気はない(選挙に興味は無い) |
| 2 投票したい候補者や政党があれば行く | 5 その他(具体的に:) |
| 3 家族や誰かに誘われれば行く | |

選択肢	回答数	回答分布
都合がつけば行く	6	40.0 %
投票したい候補者や政党があれば行く	5	33.3 %
家族や誰かに誘われれば行く	1	6.7 %
今後も行く気はない(選挙に興味は無い)	2	13.3 %
その他	1	6.7 %
無回答	1	6.7 %



《その他の内訳》

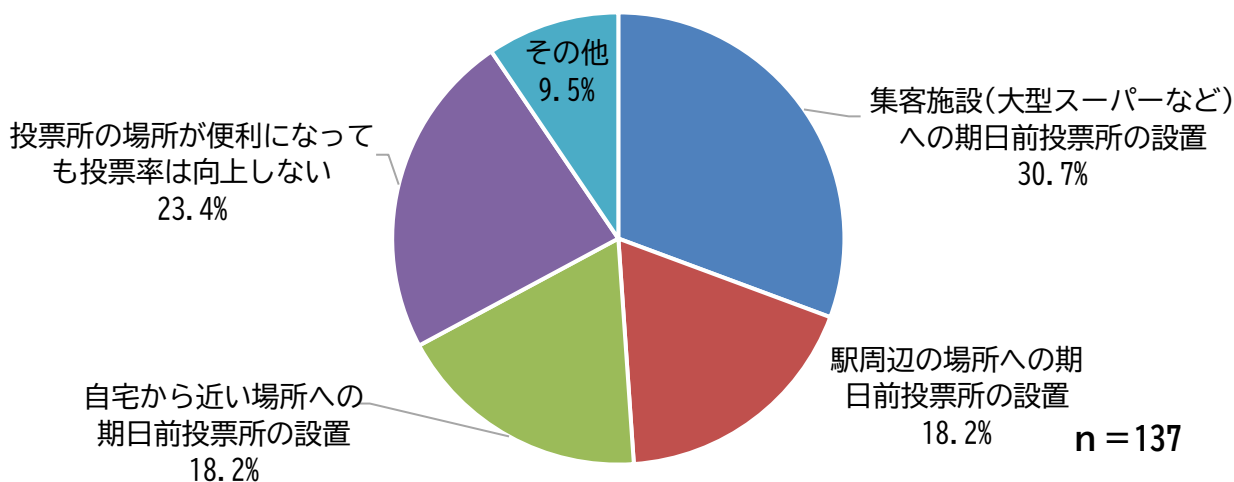
- ・近い場所、駅からすぐ近くで投票したい

☆ 「都合がつけば行く」が 40.0%で最も多く、次いで「投票したい候補者や政党があれば行く」が 33.3%、「今後も行く気はない(選挙に興味は無い)」が 13.3%、「家族や誰かに誘われれば行く」が 6.7% という結果になりました。

【問8】投票率向上のために最も効果があると思う投票環境の改善策はどれだと思いますか。(回答は1つ)

- 1 集客施設(大型スーパーなど)への期日前投票所の設置
- 2 駅周辺の場所への期日前投票所の設置
- 3 自宅から近い場所への期日前投票所の設置
- 4 投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない
- 5 その他(具体的に:)

選択肢	回答数	回答分布
集客施設(大型スーパーなど)への期日前投票所の設置	42	30.7 %
駅周辺の場所への期日前投票所の設置	25	18.2 %
自宅から近い場所への期日前投票所の設置	25	18.2 %
投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない	32	23.4 %
その他	13	9.5 %
計	137	100.0 %



《その他の内訳》

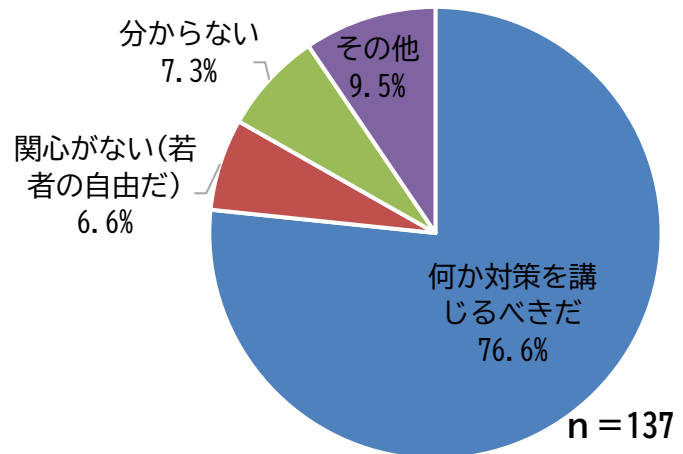
- ・インターネット投票ができるようにする(8人)
- ・郵便投票ができるようにする
- ・投票後手土産がもらえるようにする
- ・政治・政党について興味を持つ情報提供をする
- ・市政等への参加やボランティア等でのポイント制を導入する
- ・選挙区内ならどこでも投票できるようにする
- ・期日前投票の時間延長をする 等

☆ 「集客施設への期日前投票所の設置」が30.7%で最も多く、次いで「投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない」が23.4%、「駅周辺の場所への期日前投票所の設置」と「自宅から近い場所への期日前投票所の設置」はいずれも18.2%という結果になりました。

【問9】あなたは、若い有権者（18歳～20代前半）の投票率の低下についてどのように考えますか。（回答は1つ）

1 何か対策を講じるべきだ	3 分からない
2 関心がない(若者の自由だ)	4 その他(具体的に:)

選択肢	回答数	回答分布
何か対策を講じるべきだ	105	76.6 %
関心がない(若者の自由だ)	9	6.6 %
分からない	10	7.3 %
その他	13	9.5 %
計	137	100.0 %



《その他の内訳》

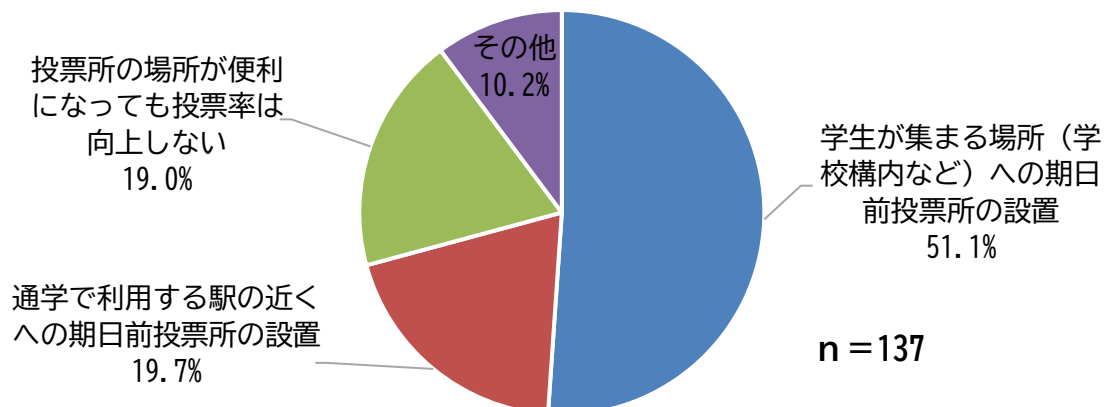
- ・投票した人に何かのポイント等の得をする策を講じる(2人)
- ・議員の質を上げる
- ・政治をわかりやすくする
- ・政治に関心を向く対策が必要
- ・立候補者の質の向上
- ・中学校、高校に政治部を作る
- ・全有権者の50%が投票に行かない世の中で『若者』だけに焦点をあてても無理ではないかと思う
- ・費用をかけずに何か対策ができれば良いと思う
- ・対策を検討すべきとも思うが、そこまで用意してあげるのに抵抗がある
- ・年齢による低下ではないと思う 等

☆ 「何か対策を講じるべきだ」が76.6%で最も多く、次いで「その他」が9.5%、「わからない」が7.3%、「関心がない」が6.6%という結果になりました。

【問10】若い有権者（18歳～20代前半）の投票率向上のために最も効果があると思う投票環境の改善策はどれだと思いますか。（回答は1つ）

- 1 学生が集まる場所(学校構内など)への期日前投票所の設置
- 2 通学で利用する駅の近くへの期日前投票所の設置
- 3 投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない
- 4 その他(具体的に:)

選択肢	回答数	回答分布
学生が集まる場所(学校構内など)への期日前投票所の設置	70	51.1 %
通学で利用する駅の近くへの期日前投票所の設置	27	19.7 %
投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない	26	19.0 %
その他	14	10.2 %
計	137	100.0 %



《その他の内訳》

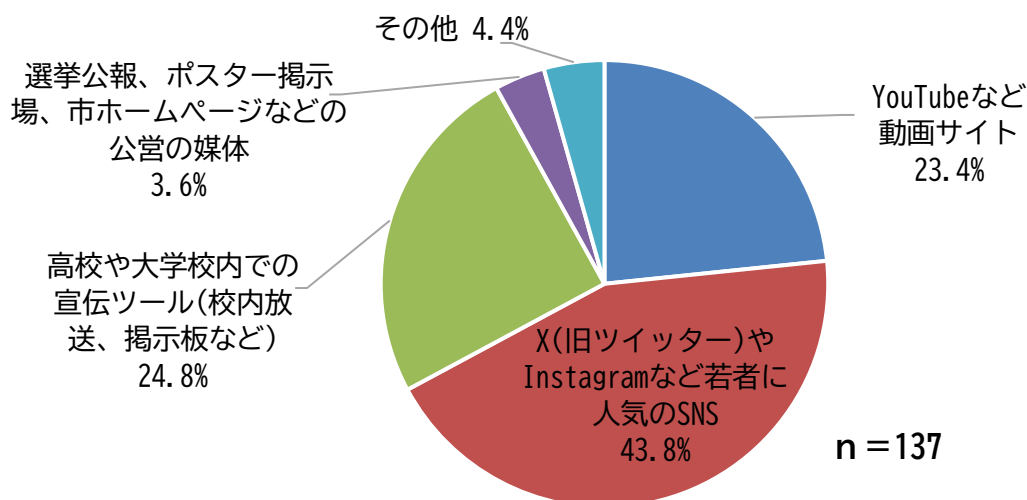
- ・インターネット投票ができるようにする(3人)
- ・投票した人が得するようにする(無料券など)(2人)
- ・教育機関(高校等)で投票の重要性を訴える(2人)
- ・SNSで投票できるシステムを導入する
- ・電子投票システムを用意する
- ・在宅で投票出来るシステムをつくる
- ・投票環境を変えればと考えてる時点でずれていると感じる
- ・学校は学生以外は投票しにくい。公共の場が良い 等

☆ 「学生が集まる場所への期日前投票所の設置」が 51.1%で最も多く、次いで「通学で利用する駅の近くへの期日前投票所の設置」が 19.7%、「投票所の場所が便利になっても投票率は向上しない」が 19.0%という結果になりました。

【問 11】若い有権者（18歳～20代前半）の投票率向上のために最も効果があると思う情報提供の手段・媒体はどれだと思いますか。（回答は1つ）

- 1 YouTubeなど動画サイト
- 2 X(旧ツイッター)やInstagramなど若者に人気のSNS
- 3 高校や大学校内での宣伝ツール(校内放送、掲示板など)
- 4 選挙公報、ポスター掲示場、市ホームページなどの公営の媒体
- 5 その他(具体的に:)

選択肢	回答数	回答分布
YouTubeなど動画サイト	32	23.4 %
X(旧ツイッター)やInstagramなど若者に人気のSNS	60	43.8 %
高校や大学校内での宣伝ツール(校内放送、掲示板など)	34	24.8 %
選挙公報、ポスター掲示場、市ホームページなどの公営の媒体	5	3.6 %
その他	6	4.4 %
計	137	100.0 %



《その他の内訳》

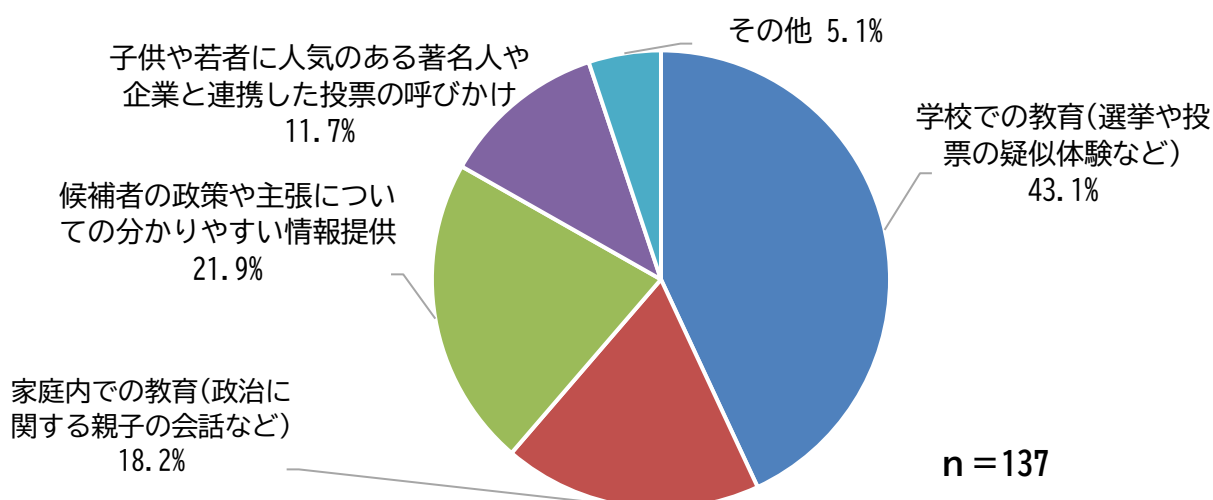
- ・SNS 全般
- ・SNS と考えるが、市関連のアカウントはフォロワーも少なく役に立つのか不明 等

☆ 「X(旧ツイッター)や Instagram など若者に人気の SNS」が 43.8%で最も多く、次いで「高校や大学校内での宣伝ツール」が 24.8%、「YouTube など動画サイト」が 23.4%、「選挙公報、ポスター掲示場、市ホームページなどの公営の媒体」が 3.6%という結果になりました。

【問 12】あなたは、若年層（小学生～20 代前半）が政治や選挙に関心を持つために最も必要なことは何だと思いますか。（回答は1つ）

- 1 学校での教育(選挙や投票の疑似体験など)
- 2 家庭内での教育(政治に関する親子の会話、親子と一緒に投票に行く経験など)
- 3 候補者の政策や主張についての分かりやすい情報提供
- 4 子供や若者に人気のある著名人や企業と連携した投票の呼びかけ
- 5 その他(具体的に:)

選択肢	回答数	回答分布
学校での教育(選挙や投票の疑似体験など)	59	43.1 %
家庭内での教育(政治に関する親子の会話、親子と一緒に投票に行く経験など)	25	18.2 %
候補者の政策や主張についての分かりやすい情報提供	30	21.9 %
子供や若者に人気のある著名人や企業と連携した投票の呼びかけ	16	11.7 %
その他	7	5.1 %
計	137	100.0 %



《その他の内訳》

- ・インターネット投票ができる環境をつくる
- ・政治不信への対策
- ・生徒会長の選出を通じて、投票の重要性を訴える
- ・特典を設ける
- ・社会や政治の問題点について自分で考える教育・環境にする
- ・色々な考えの人が共同生活をするために選挙が必要であることを理解する
- ・なぜ政治と選挙があるのかを理解する 等

☆ 「学校での教育」が43.1%で最も多く、次いで「候補者の政策や主張についての分かりやすい情報提供」が21.9%、「家庭内での教育」が18.2%、「子供や若者に人気のある著名人や企業と連携した投票の呼びかけ」が11.7%という結果になりました。

《その他の内訳》

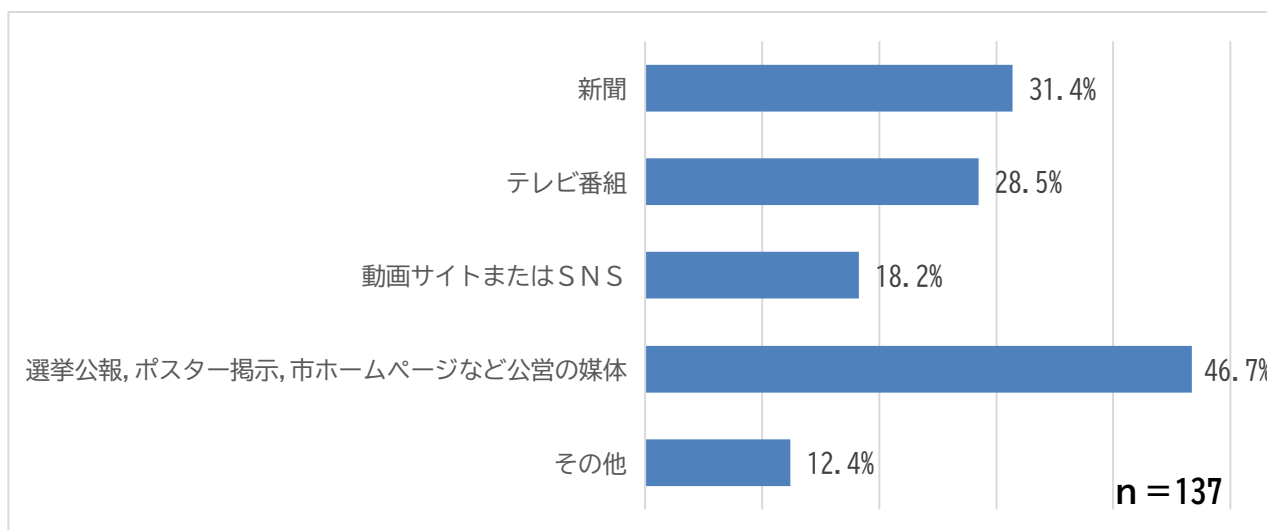
- ・学校の校則や社会問題等(2人)
- ・育児、妊娠、出産、教育、福祉などの自分にとって身近な問題
- ・他国との関わり方
- ・司法・立法・行政のしくみと役割
- ・税金と政治
- ・国民投票・女性天皇制など、今話題の内容
- ・子供に会えない親と子供の交流について 等

☆ 「身近な地域課題の解決」が44.5%で最も多く、次いで「将来のまちづくり」が27.0%、「国の社会問題の解決」が16.8%という結果になりました。

【問15】 今回の衆議院議員選挙で最も参考にした情報媒体は何ですか。(回答はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 新聞 | 4 選挙公報、ポスター掲示、市ホームページなど公営の媒体 |
| 2 テレビ番組(具体的にあれば:) | 5 その他(具体的に:) |
| 3 動画サイトまたはSNS(具体的にあれば:) | |

選択肢	回答数	回答分布
新聞	43	31.4 %
テレビ番組	39	28.5 %
動画サイトまたはSNS	25	18.2 %
選挙公報、ポスター掲示、市ホームページなど公営の媒体	64	46.7 %
その他	17	12.4 %



《テレビ番組の内訳》

・ニュース、報道番組(6人) ・各党の政策、公約の番組 ・政見放送(3人) ・討論会番組 等

《動画サイトまたはSNSの内訳》

・YouTube(7人) ・個々の選挙チャンネル ・Instagram(2人)
 ・個々の公式サイト ・X(5人) ・選挙マッチングのサイト 等

《その他の内訳》

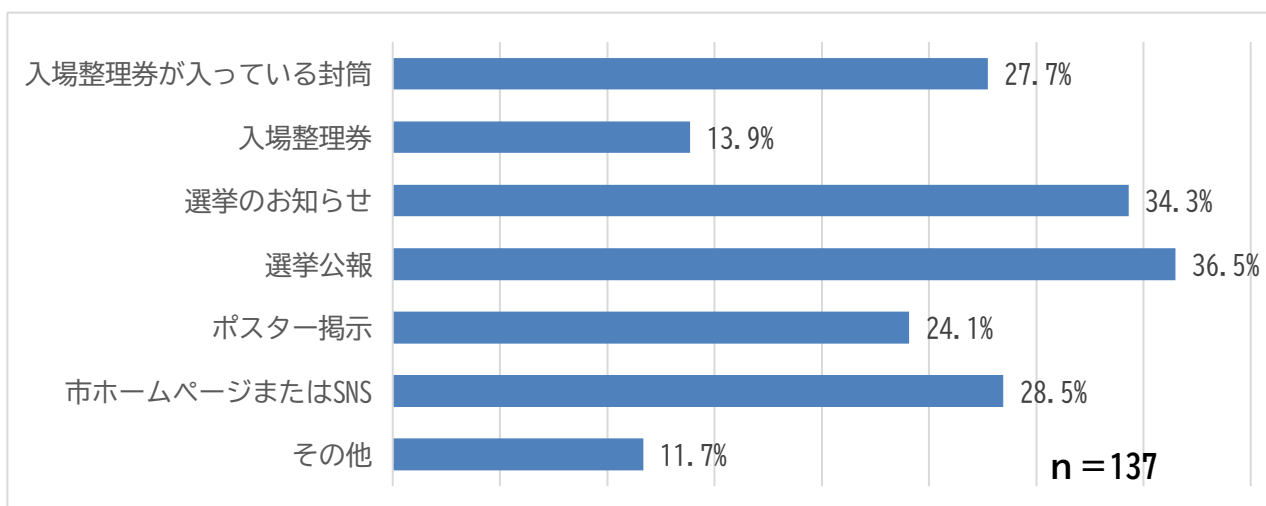
・街頭演説(2人) ・学校でもらったプリント ・はがき ・政党のホームページ ・知人 等

☆ 「選挙公報、ポスター掲示、市ホームページなど公営の媒体」が46.7%で最も多く、次いで「新聞」が31.4%、「テレビ番組」が28.5%、「動画サイトまたはSNS」が18.2%という結果になりました。

【問16】投票率向上のために最も改善すべき公営の媒体はどれだと思いますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 入場整理券が入っている封筒 | 5 ポスター掲示 |
| 2 入場整理券 | 6 市ホームページまたはSNS |
| 3 選挙のお知らせ | 7 その他(具体的に:) |
| 4 選挙公報 | |

選択肢	回答数	回答分布
入場整理券が入っている封筒	38	27.7 %
入場整理券	19	13.9 %
選挙のお知らせ	47	34.3 %
選挙公報	50	36.5 %
ポスター掲示	33	24.1 %
市ホームページまたはSNS	39	28.5 %
その他	16	11.7 %



《その他の内訳》

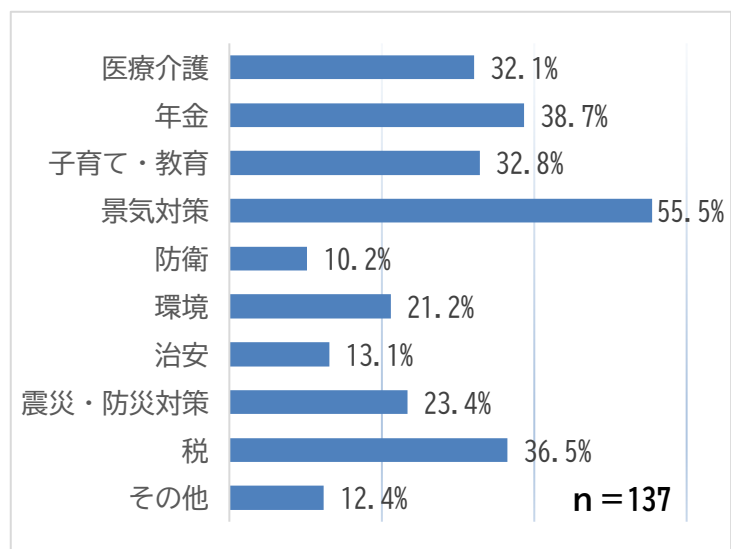
- ・公営媒体の改善と投票率向上は結びつかない(3人)
- ・市民の声がコメントに残せる動画サイトを作る
- ・選挙公報の早めの配布
- ・入場整理券の封筒に、入場整理券も身分証明書もなく投票に行けることを大きく書く
- ・ポスター掲示場は不要 等

☆ 「選挙公報」が36.5%で最も多く、次いで「選挙のお知らせ」が34.3%、「市ホームページまたはSNS」が28.5%、「入場整理券が入っている封筒」が27.7%、「ポスター掲示」が24.1%、「入場整理券」が13.9%という結果になりました。

【問17】 来年の夏に参議院議員選挙が予定されています。あなたは、次回の選挙ではどの点を重視して投票をしますか。(回答は3つ)

1 医療介護	5 防衛	9 税
2 年金	6 環境	10 その他(具体的に)
3 子育て・教育	7 治安	
4 景気対策	8 震災・防災対策	

選択肢	回答数	回答分布
医療介護	44	32.1%
年金	53	38.7%
子育て・教育	45	32.8%
景気対策	76	55.5%
防衛	14	10.2%
環境	29	21.2%
治安	18	13.1%
震災・防災対策	32	23.4%
税	50	36.5%
その他	17	12.4%



《その他の内訳》

- ・障害福祉
- ・生活環境
- ・外国人の雇用促進
- ・食の安全
- ・自給率の向上
- ・エネルギー
- ・物価上昇対策
- ・人権
- ・少子・高齢化 等

☆ 「景気対策」が55.5%で最も多く、次いで「年金」が38.7%、「税」が36.5%、「子育て・教育」が32.8%、「医療介護」が32.1%という結果になりました。

【問18】最後に選挙に関してのご意見、これまでの設問で表現できなかったことなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

(多数いただいた回答から抜粋して掲載。)

若年層の投票率については、若者は自分で真実を調べる傾向があるので、SNSの発信をマメにして、定期的に見てもらって推してもらうことが投票率アップにつながると思います。
自分が初めて投票するときに、投票所にいたスタッフに「投票所ではしゃべらないで下さい!」と大きな声で言われました。まだ二十歳でわからなかったので、スタッフに投票の仕方を教えてほしかったです。今18才の子たちが同じ経験をしないことを願います。
成人と見なされる年齢が18歳に下がったにも関わらず若者の選挙への不参加、無興味は大きな問題だと思います。そしてそれに対して市が何かをしているというのが私には見えてきません。
若い世代向けの政治のテレビ番組があるといいと思います。
学校教育で選挙の重要性をもっと教育すべきだと思います。
正直、自分自身も若い時にはほとんど投票に行かなかった。何も変わらないとも思っていたし、政治の話をするのが憚られたように記憶している。その辺りに何かヒントがあるように思う。
「選挙出前授業」は投票に行く意義を体験するという観点ではよい試みと思う。幾つかの具体的なテーマを出して、児童・生徒自身に選択させて、選挙を考えさせ行わせるのもよいと思う。
選挙を知ってもらうイベント等の開催等を実施すべきであると思います。
子が18才になったと同時に会場アルバイトの知らせが来た。それによって投票に出向くきっかけとなり良かった。
SNSにより若者の選挙への関心が増したことは良いことと思います。反面、フェイクニュースや営利目的のポスター等、これまで想定されていなかった事項も多発しています。せめて相模原では節度のある選挙を実施して欲しく、そのための検討をして頂ければと思います。
政党を一つ一つ取り上げてYouTubeで(好き嫌い関係なく全部)観て聴いてみる。国会中継観る。そしてどう思うか意見を交わす。考える。そんなことを小さな頃から普通にやれたらいい。
スマホで投票ができれば、若い有権者の投票率が上がるのではないかと思います。
将来的には投票所へ行かなくても、オンラインなどで出来るようにしていただくと若年層への励みになります。
もっと学校の先生や親が選挙に行こうと言えば若い人も行くようになると思う。
投票行動も大事ですが、候補者のわかりやすい政策の説明、候補者の市民のためにはたらく姿勢が伝われば政治に関心が集まると思います。有権者だけにフォーカスをあてるのは違うと思います。
若者たちの選挙離れは立候補する人や政党への不信感がそうさせているのではないのでしょうか。それは若者たちだけではない。
選挙に行かなければならないという雰囲気世の中に広げるべき、場合によっては選挙投票は義務とし、行かない人はペナルティもあるようにすべきではないかと思う。
インターネット使用者が多いことを踏まえて、さらなるXでの投票呼びかけ、インターネット投票を実現して欲しい。Xの拡散力はYouTubeとは桁違いです。
選挙に行っても何も変わらないと言う人が多すぎる。選挙に行かないと悪いことが起きることを脅すくらいに刺激的な表現で伝えないと心に響かない。

若者は SNS を通じた情報を鵜呑みにする場合がありますので、分かりやすいというだけで偏った考えから抜け出せないこともあり危険であると思われる。
選挙ポスターの掲示板、選挙公報は今の時代には必要ないと思われる。その費用をもっとデジタル化に利用し、若者が立候補しやすい要件、選挙に関心を持てる方策、投票しやすい環境の工夫に役立ててほしい。
若者の投票については、有名人を広告の起用することはかなり効果的だと思います。若者に人気な VTuber やアイドルなどは、街中で見かけると〇〇だ！何の広告だろう？となるので、選挙の知名度をあげるきっかけになると思います。
政党別の広報の紙が当日にしか入手できないので、早めに、若者には学校など、私達には駅や公共施設においてほしい。
設問にもありましたが、親が投票に行かなかったら子供も投票には行かなくなると思うので、親子での投票行動を促すような対策をしてもいいのかもしれない。
期日前投票により、選挙に参加する人は増加したと思います。学校など先生と一緒に投票できる環境を作れば少しは改善できるかも。
子供達と必ず選挙に行っています。高校や大学校内に投票所を設置するのはいいアイデアだと思います。
選挙がなかったら自由はなくなって希望がなくなるような気がします。自分の未来作り選挙等ネーミングも大事なような気がします。
自分の頭で考え判断し行動する事の意義を小学生の頃から家庭、学校、地域で示さなければいけない。現状の選挙出前授業では手緩い。今の小学生は、馬鹿ではない。
今まで政治に関心のなかった人々を巻き込むには、政治や選挙と離れたところに踏み込んでアプローチすることが効果的だと思います。もし、選挙がなかったら…ということも意識させることができたなら、選挙というチャンスをもっとみんな大切にするような気がします。
選挙結果を若者に分かりやすい形で伝える方法があれば良いと思います。
子どものときから段階に応じて憲法や人権や選挙の意味を学んで真に賢い主権者を育てたいです。
投票行動は習慣にすべきことだと思っているので、若年層には強引にでも投票させることが大事だと思っています。

今後の活用

今回のアンケート結果では、投票意識に関する回答を得るとともに、若年層の政治参加を促す方法等について様々なご意見を伺うことができました。今後はこのデータを活用し、次世代の有権者である若年層が政治や選挙に関心を持ち、将来の投票行動につなげていけるような啓発事業に取り組んでまいります。

このアンケートに関するお問い合わせは、こちらへお願いいたします。

相模原市 行政委員会事務局 選挙課

電話 042-769-8290(直通)

〒252-5277 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館4階